

〈入試科目の見方〉

公募推薦入試のみ受験の場合は、各入試科目の「公募推薦」の欄についている○が受験科目になります。また、公募推薦入試と給費生入試を同時出願する場合は「給費生」の欄の○が受験科目になります。

ピアノ音楽コース

〈前ページのパターン①のいずれかを選択して受験〉

※ピアノ実技を主とした「パターン①」とピアノ実技(2曲)と小論文及び面接の、「パターン②」を選択できます。

【パターン②】

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1 主科実技課題	A. 以下の(1)および(2)の両方を演奏する (1)以下の(a)~(h)のいずれかの曲集の中から、任意の1曲 (a) J.S.Bach: Das wohltemperierte Klavier (平均律クラヴィーア曲集) 第1巻および第2巻。ただしフーガのみ。 (b) C.Czerny: Die Kunst der Fingerfertigkeit, Op.740 (699) (ツェルニー: 50番練習曲) (c) J.B.Cramer / Bülow: 60 Ausgewählte Etüden (クラマー=ビューロー: 60の練習曲) (d) M.Clementi: Gradus ad Parnassum, Op.44 (クレメンティ: グラドゥス・アド・パルナッスム) (e) M.Moszkowski: 15 Etudes de virtuosité, Op.72 (モシユコフスキ: 15の超絶技巧練習曲) (f) I.Moscheles: 24 Studien, Op.70 (モシェレス: 24の練習曲集) (g) F. Chopin: 12 Etudes, Op.10 (ショパン: 12の練習曲集) (h) F. Chopin: 12 Etudes, Op.25 (ショパン: 12の練習曲集) (2) 自由曲1曲	※繰り返しなしで暗譜とする。 ※(1)、(2)の順で演奏すること。	○	○	○	○	
	B. 自由曲 1曲	※繰り返しなしで暗譜とする。					○
2 小論文	テーマは当日出題 (1000字以内、60分)。		○	○	○	○	○
3 主科面接	小論文等をもとにした面接		○	○	○	○	○
4 楽典	筆記試験 (60分)		○	○	○	○	○
5 ソルフェージュ課題	以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a) 旋律聴音2題、および和声聴音1題 (上三声密集四声体) (b) F.Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (c) 新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	○
6 AO面接		※AO面接は主科面接の中で行う。	○				
7 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、その伝記を読んで、試験当日に課題作文を書く。伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。/60分 詳細は●ページに記載。			○			
8 給費生面接				○			
9 一般科目	A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験 (45分) (a) 英語 (I・II) (b) 国語 (国語総合、国語表現 I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学 I						○
	B. 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照					○

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サカドフォーコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦響打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース